第25号　令和４年３月１日

夢に向かって

長崎市立愛宕小学校
校長　　中 村　秀 一 郎
電話　　826－6062

教育目標　　あたたかく たくましい 心と体をもち、互いに学び合う児童の育成

春の水　冷たさ半分　気も新た

卒業式を毎年飾る「サクラソウ」が咲きました。陽だまりには季節の変化を感じる風が吹きます。春を待つ心が半分、年度末の寂しさを思う心が半分、ちょっと複雑な心境です（暖かいのに朝の立哨指導でできた足のしもやけが、まだ治りきっていません。）。

新型コロナウイルスの新規感染者数に一喜一憂をしてはいけないとわかりつつ、毎夕に発表される県や市の数値が気になります。３月17日に開催する卒業証書授与式は、来賓の出席をお断りして保護者の皆様の出席のみとし、時間短縮で臨む覚悟を決めました。地域の皆様に直接お礼を言える機会がなくなり、申し訳ない気持ちでいっぱいです。いつも支えてくださり、ありがとうございました。

子供たちの様子から

春の陽気に誘われるのでしょうか。子供たちは、いつもに増して明るく元気です。運動場で遊ぶ人数もめっきり増えました。２階の校長室から、うれしそうに遊んでいる子供たちを眺めています。トラブルも発生せず、仮にぶつかったとしてもいたわっている姿をよく目にします。優しい子供たちに誘われた教員もちらほら運動場に出て、楽しく休み時間を過ごしています。

５年間のまとめ（形から）

愛宕小学校に校長として赴任し、５年間が経過しました、その間、お願いし続けたことの中から、形になった物（こと）と、残念ながら実現できなかったことを整理してみます。

＜形となった物（こと）＞

〇外トイレの多目化
- 旧トイレ･･･男女兼用で便器と手洗い場を含めて２畳ほどの広さ
- 新トイレ･･･男女別の２つと、プラスして車いすでも使用できるトイレが同場所で新設し、３倍の広さ

〇運動場固定施設の交換
- ブランコ･･･子供の使用に耐えられるように新品と交換し、危険防止のためのマットを敷設
- 滑り台･･･一方向に滑る物から、二方向に滑る物（新品）と交換

＜実現できなかった物（こと）＞

〇東側玄関の電子ロック
- 学校の構造上、東側玄関からの不審者侵入に対し弱い面を感じ、東側玄関を電子ロック（職員室から鍵の開錠を制御）方式に変更も模索

→予算をもらい、３月末までに施工するようになったが、業者にコロナ禍により電子基盤が手に入らないことにより断念

〇**登下校時の車の使用数の減少**（子供の健康面・安全面、地域への迷惑）

＜３月末までに着工予定＞

〇東側鉄棒の撤去（経年劣化し、支柱の錆が顕著に）

〇登り棒の撤去（鉄棒と同様）